

被災地支援ボランティア 佐用町で足湯 参加者アンケート 集計結果 (2010年5月15日分)

回答数：21名 [神戸学院大学13、神戸女子短期大学5、神戸大学3]

1. 参加のきっかけ

- | | |
|------------------------|--------------------------------|
| A. ホームページを見て [0] | D. 先生に誘われて [12] |
| B. 授業中にチラシを配布されて [1] | E. 友人に誘われて [2] |
| C. 掲示版(チラシ)を見て [4] | F. その他 [2] (被災地 NGO 協働センターで) |

2. 今日のボランティア活動は良い経験になったか (全体評価)

大変良かった (15) 良かった (5) どちらでもない (1) あまり良くなかった (0) 全く良くなかった (0)

3. 今日の取り組みについて教えてください (自己評価)

- | | | |
|-----------------------|-------------|-----------|
| A. 今日の行動を事前に理解して行動できた | YES. [20] | NO. [1] |
| B. 主体的・積極的に行動できた | YES. [19] | NO. [2] |
| C. 周囲の人と協力できた | YES. [21] | NO. [0] |
| D. 楽しんで活動に取り組めた | YES. [21] | NO. [0] |

4. 特に印象に残った事 (原文まま)

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・足湯をさせていただいている時、とても気持ちいいと言ってくれたことや、終わってから一緒にお茶を飲んで話したことです。 ・初めての体験で、戸惑ってしまう場面もありましたが、お茶をしながら楽しくおしゃべりしたり、地域の方に楽しんでもらえて本当によかったです。他大学の人もお話ししたりできて、とても貴重な経験となりました。 ・地域の方と様々なお話をし、佐用町でのボランティア活動についてとても印象に残りました。災害を通して佐用町の人々の絆が強まったことを知りました。 ・フィールドワーク(散歩)中に見た川べり。1年もたたないのに、もう茂りきっている姿を見て、時の流れを勝手に切り取った「年」や「周年」みたいなものは自然には何も価値のないもので、きっと人の心の中もそうなんだろうなあ、と。 ・佐用町のボランティアの方々の活動にすごいと感じた。あの方々がよくしてくださっているから、地域の方々も楽しく過ごせるのだと思った。 ・担当したおばあちゃんがずっと「ありがとう」って何回も言ってくれたこと。 ・おばあちゃんたちがみんな楽しい人たちで、とつてもきゅんとした。 ・喫茶に来てた人とたくさんおしゃべりして、喜んでもらえて、超うれしかったし、やっぱり幸せになりました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・みんなと協力して活動できたこと。現地の方にたくさんお礼を頂いたこと。 ・他大学の学生さんも優しくとても活動しやすかった。佐用町の方と学生さんとみんなで話せたこと。 ・足湯を練習でやっているのと、本番でやっているときはまったく違った。 ・佐用町で足湯をしながら話を聞いたこと。 ・佐用町での活動…被災者との会話、協力して活動 ・佐用町で現地の方々のお話を聞いたこと。 ・佐用町の方とお話したこと。 ・車や家電が全て流され、家のコンロなども無くなっていたこと。 ・今でもまだまだ砂が出てくるということ。 ・佐用町の人たちの話を聞いてその被害のすごさに驚かされた。 ・交流 ・佐用町での活動・交流 ・足湯の活動 |
|---|---|

5. 被災者の方のイメージが変わったか (原文まま)

- ・みなさんとても明るくとても元気だったが、過去の被害について話すときは、その被害がどれほどすごかったかわかるほどの表情で真剣に話してくれた。
- ・とても明るく、元気な方ばかりだった。つらいこともたくさんあったと笑顔で語られていたことがとても印象的だった。
- ・ふれあい喫茶ということもあり、皆さん明るく元気だなと思いました。町自体はキレイになっても、心の恐怖感はずぐに変わらないものだと感じました。
- ・今まで新聞とかテレビとか上辺だけしか知らなかったが、本当の被害というか中身は悲惨なものでした。
- ・みんな明るく元気だったが、足湯をしていて、やはり、まだ不安は消えないのだなと思った。
- ・災害が起き、大きなダメージを受けたようですが、一生懸命復興の努力をなされて、今、生き生きとされているのが分かり、少し安心しました。私自身も元気づけられました。
- ・苦労されてきた方たちなので、今回の活動が心のいやしになっていただけてよかったです。終始笑顔であたたかい人ばかりでした。
- ・思ったより明るかった。
- ・明るく元気な人ばかりで逆に元気をもらえた。
- ・思っていたより元気で、今を楽しんでいるように見えた。
- ・みんなすてきな方でした。
- ・とてもちがっていた。みなさん、とても明るく元気でした。
- ・大変ではあったのだろうけど、明るく話してくれたので、“被災者”というイメージはわかかなかった。
- ・あんまり変わりませんでした。
- ・今回特に災害についての話をしなかったため、あまりイメージは変わっていません。
- ・変わった。災害を乗り越えてみなが明るかった。
- ・思ったより明るかったです。
- ・遠い存在から身近な存在になったと思います。
- ・元気に話してくれてイメージと違った。
- ・イメージと言われても、という感じです。

6. 今後も被災地支援ボランティア活動(足湯)に参加したいか

是非したい(7) できればしたい(14) どちらでもない(0) あまりしたくない(0) 全くしたくない(0)

7. 感想、改善して欲しいこと、提案など 自由記述 (原文まま)

- ・心のどこかで「他人事」のように考えていたのが、自分のことのように感じる事ができたので、今回だけにとどまらず継続して行いたい。
- ・いろんな方々とふれあいながらコミュニケーションの輪を広げていけるので、とてもすてきな企画だと思いました。また、佐用町の方以外にも他大学の方とも話す機会ができてよかったです。
- ・今日はとてもよい経験ができました。先頭きって行ったのは良かったのですが、ものすごく緊張しました。神女の子たちとも関わられたので良かったです。
- ・とても楽しかったし、私もいろいろ学べたりできたので、また参加したいです。
- ・こんな風にお年寄りとかかわるのは久しぶりだったので、とても楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。
- ・とても楽しく活動できたので良かった。
- ・ぜひ学院大や短大の人と一緒に足湯に行きたいです。
- ・良かった。